

# 開会式

# 雨の中40校堂々行進

## 第92回 全国高校野球選手権 和歌山大会

主催 朝日新聞社 県高野連

### 第1日



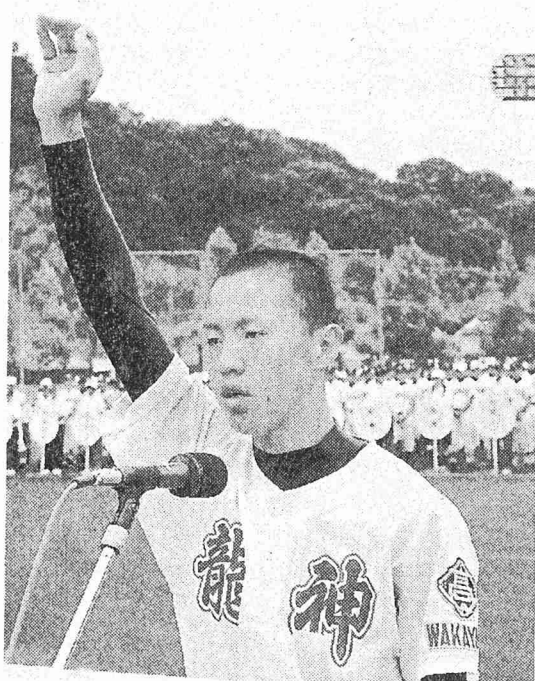
雨模様の開会式では、タオルをかぶるなどした観衆が大きな声援をおくった＝紀三井寺

第92回全国高校野球選手権和歌山大会（朝日新聞社、県高野連主催）が11日、和歌山市毛見の眞宮紀三井寺球場で開幕した。開会式では大会最多タイの40校の選手たちが力強く行進した。開幕試合は海南―和歌山商の伝統校対決。両チームとも無失策の試合を和歌山商が制した。第2試合では市和歌山の打線が9安打と爆発し、5回コールドゲームで高野山を下した。12日は1回戦3試合がある。

（榎崎貴司）

小雨が降り、強い風が吹く中であつた開会式では6連覇を目指す昨年の優勝校・智弁和歌山を先頭に、計40校の選手が元気よく行進すると、ス

タンドからは大きな声援が送られた。選手たちがグラウンドに整列したあと、朝日新聞社のヘリコプターから始球式の手が投げ下された。



### 選手宣誓

### 南部龍神・森本明主将

選手宣誓を務めたのは、南部龍神の森本明主将（3年）＝写真。「今まで支え、励まし、指導して下さったすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、母校の誇りと私たちの夢の実現に向けて、正々堂々と全力でプレーすることを誓います」と力強く宣誓した。「緊張したけれど、きっちりと大きい声で言えてよかった」と大役を終えてほっとした様子で話した。

抽選会でくじを引き当てた後、3日ほどかけて部員や先生と文章を考えた。「感謝」という言葉を必ず入れたかったという。練習後に部員の前で数回、学校の壮行会では全校生徒の前で宣誓の練習をして本番に臨んだという。スタンドからの大きな拍手を聞いて「やってよかったです。試合でも今までやってきたことを全力で出したい」と意気込んだ。（増田啓佑）

感謝忘れず  
夢実現へ全力

野球選手権大会）の生みの親が和歌山出身の新聞記者だということを紹介した。「先人が築いた歴史と伝統、野球への思いを引き継ぎ、未来へつなぐことが皆さんに期待されています。自らの人生に一ページを加え、チーム、学校の歴史を作って欲しい」と述べた。朝日新聞和歌山総局の中野裕也総局長は「皆さんのほつらつとしたプレーに、県内の高校野球ファンとともに声援を送りたいと思います」と激励のメッセージを送った。

この後、南部龍神の森本明主将が選手宣誓。始球式の投手役は県立和歌山北高校3年の九鬼巧さんが務めた。